

中朝通信

李朝とお爺さん

李朝のものには、言葉にならない美しさがある。
骨董のものに興味がある、なにが好きだといったことは、どうやらその人の人間そのものとか、人生での出会いに大きく関係するものらしい。

近くミルクホールで美術展がおこなわれる合田佐和子さんの創作活動も幼い頃の焼け跡での原体験が深く関わっているという話である。

彼女は焼け跡で見つけたガラクタを拾い集めた頃からガラクタ収集癖が始まり、本格的に美術活動を始めた原点も、瀧口修造氏の勧めで発表された『ガラクタのオブジェ』（1965年）だった。その後表現手法は、油彩や鉛筆画、パステル画、写真、版画、ビデオオへと広がって今に至るといって、ガラクタ生活は今も続けている。ガラクタも含めて骨董の世界、いやもともと骨董というものは、ガラクタそのものであり、人間界そのもの実に広いやこしい世界で、その中に何かがあるのか、どんな出会いがあるのか予想もつかない。私は、その広い世界で李朝のものに出会った。ひょんなことで骨董というものを職業にすることになり、自分なりに勉強を始めようとしていた頃、地方の骨董市で、あるお爺さんに出会った。

その人は地べたに座り、ぼつぼつ色々なものを並べて売っていた。そのお爺さんの持っていた小さな灰色の壺にふと目がとまった。

『これは何?』と聞くと、『それは須恵器。でもきつと贗物だよ』とお爺さんは言う。

『スエキ?贗物?』と聞き返すと、困った顔をして本当の事はわからないと答えた。

『でも、変なものじゃない』全然わからないけどそれは確かだと言う。そしてこっちは確かに本物だと言って『新羅の壺』というものを見せてくれた。黒光りする色も形も見た事のない壺だ。とにかく気に入った。私は2つとも買って持ち帰り、店に並べつくづく眺めた。後で調べたところによると須恵器は日本に朝鮮からの焼き物の技術が始めて伝わったころそれを習って作っていたもので、新羅は古代朝鮮の王国であり、すでに焼き物の高い技術を持っていたものと思われる。私にとっては思い切った大きな買い物だった。

しかも一つは贗物だというのだから・・・その2つを並べて(そんなものすぐ売れるわけもなく)毎日眺めている内に、お爺さんの言った 須恵器・・・贗物・・・新羅・・・本物・・・その言葉の意味がなんとなくだんだんわかってきたが、須恵器が本物かどうかはついに知る事はなかった。買ったお客さんも、『わからないというのも面白い、気に入った』と、納得してくれた。それをきっかけに朝鮮のもの、李朝のものに世界が広がり、焼き物だけでなく木の物や道具類なども扱うようになった。その後もお爺さんは、会うたびに似た事もない李朝の色々な世界を私に見せてくれた。そして決まって、難しいことは何も知らない、と、答えた。

その中には、専門の収集家をうならせるものも何点があったし、贗物もあった。

私がお爺さんに教えてもらった朝鮮のもの、李朝の世界の美しさは言葉では表現できないものだった。丸いものも、四角いものも、青いもの(青磁)も白いもの(白磁)も、完全ではないのだけれど、文句のつけようのない優れた宇宙的な調和の完璧さを持っている。お爺さんは、自分は本当に何も知らないと言っていた。本当に知らなかったと思う。

何も知らないと言うことが私が骨董を知る原点になった気がする。

知らないと言うことが、その本当の姿、美しさを知る一つの方法だということも...

それを教えてくれたお爺さんはもう骨董市にはいない。しばらく具合が悪かったがとうとう動けなくなったらしい。あのお爺さんと、朝鮮のものとの出会いが私と広いガラクタ世界とのたったひとつの出会いだった。私とお爺さんはどこか、同じ心をもっていたのかなと、思う。

『私は朝鮮のものが好きだからね、朝鮮に行ってみただけど、向こうには何にもなかった。

日本が戦争してみな捕って来ちゃった。』

そんなことも、知らなかった。

お爺さん、本当にお世話になりました。ありがとう。

新入荷 李朝の木台 ￥7000より
李朝青磁小皿 ￥12000
青磁高麗壺 鉄袖絵 ￥180,000



INFORMATION



ミルクホールの美術展

合田佐和子展
& 合田ノブヨ

1999年3月2日(土)~
am 11:00 OPEN!

<http://www.mikhall.co.jp/>



ミルクホールではお店を通して親しくなった作家やアーティストの方たちの個展や作品をインターネットや店頭にてご紹介していますがこのたびご本人のご協力を得て、ミルクホールの美術展を開催することに致しました。第一回は、合田佐和子さんです。今まで一般に公開された作品の数々のほか小品や、著作やポスター、小物類、また個人的な趣味のコレクションの紹介など、ミルクホールならではの、合田佐和子展です。シュールな感性の作風と、寺山修二・唐十郎などの特異な個性の演劇人達との仕事で一風変わった作品で知られる合田さんのガラクタ好きで親しみやすい人柄に触れられると思います。素顔はとても美人で優しい人です。